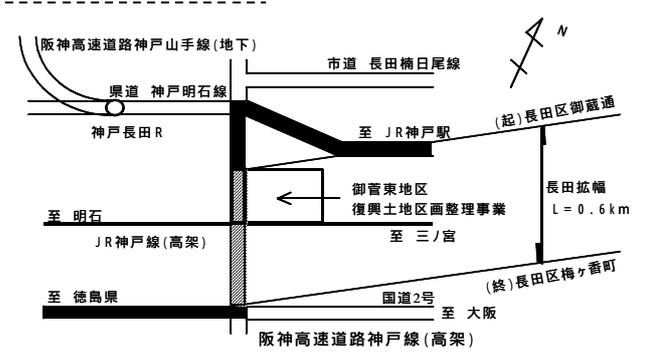
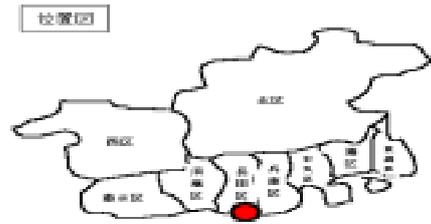


再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名 一般国道28号 <small>ながたかくふく</small> 長田拡幅	事業区分 一般国道	事業主体 神戸市								
起終点 自： <small>こうべ</small> 神戸市長田区御蔵通 至： <small>こうべ</small> 神戸市長田区梅ヶ香町	延長 0.6 km									
事業概要 一般国道28号は、神戸市のJR神戸駅前を起点とし、淡路島を経て、徳島県徳島市に至る約110kmの幹線道路であり、このうちJR神戸前から国道2号の東尻池交差点までの3.9kmを神戸市が管理している。本市管理区間のうち当該事業の区間のみ都市計画幅員が確保されておらず、本事業により道路拡幅を実施し、あわせて電線共同溝を整備することによって、災害に強い道路ネットワークを構築する。										
H6年度事業化	S21年度都市計画決定 （S55年度変更）	H6年度用地着手								
H12年度工事着手										
全体事業費 ：約 34億円 事業進捗率 ：82% 供用済延長 ：0.2km										
計画交通量 ：38,000台/日										
費用対効果分析結果	B/C ： (事業全体) 2.5 (残事業) 2.5	総費用 ： (残事業)/(事業全体) 20/33億円 (事業費：20/33億円) (維持管理費：0/0億円)								
総便益 ： (残事業)/(事業全体) 49/84億円 (走行時間短縮便益：47/81億円) (走行費用減少便益：1/2億円) (交通事故減少便益：1/1億円)		基準年 ： 平成15年								
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保(混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善。) ・無電柱化による美しい街並みの形成(電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり。) 他4項目に該当する。										
関係する地方公共団体等の意見 御菅東地区復興土地区画整理事業の換地処分等により、沿道のまちづくりが進んでおり、地域の核となる本路線の早期整備が求められている。										
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・御菅東地区復興土地区画整理事業については、平成15年4月に換地処分済 ・阪神高速道路神戸山手線の一部供用により、本路線が神戸線への乗継ぎルートとなっている										
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・平成15年9月にJR以北(230m)を一部供用済 ・用地取得率は94%であるが、JR以南において一部未買収用地がある										
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 未買収用地の用地交渉を促進し、並行して用地取得済箇所より順次工事に着手し、平成10年代後半の供用を目的に工事を推進する。										
施設の構造や工法の変更等 当初計画では、JR高架部の改修を予定していたが、現状のままで車道・歩道の必要幅員を確保した道路線形に変更した。										
対応方針 ：事業継続										
対応方針決定の理由 用地買収の大半が完了し、JR以北が部分供用しており、残区間の完成供用の見通しも明らかである。										
事業概要図										
										
										
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th colspan="2">凡 例</th> </tr> <tr> <td style="width: 20px; height: 10px; background-color: black;"></td> <td>供用中</td> </tr> <tr> <td style="width: 20px; height: 10px; background-color: #cccccc;"></td> <td>再評価箇所</td> </tr> <tr> <td style="width: 20px; height: 10px; background-color: #e0e0e0;"></td> <td>うち供用中</td> </tr> </table>			凡 例			供用中		再評価箇所		うち供用中
凡 例										
	供用中									
	再評価箇所									
	うち供用中									

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。